

東 福太郎

桐の材木屋に生まれ、祖父、父の背中を見て育つ。

関西国際大学を卒業後、平成 16 年京都伝統工芸専門学校に入学

京の名工の内藤邦雄氏の元、京都の指物の伝統技術を学ぶ。

平成 19 年 有限会社 家具のあづま 入社

平成 21 年 京の伝統工芸新人作品展 佳作

平成 22 年 京の伝統工芸新人作品展 最優秀賞 受賞

平成 22 年 KANSAI DESIGN MAP 選出

平成 23 年 和歌山県指定文化財 名手八幡神社三社殿を改修

平成 23 年 第 26 回国民文化祭 京都 2011 美術展〔工芸〕南丹市長賞 受賞

平成 28 年 紀州桐箆笥 伝統工芸士 認定

平成 29 年 OMOTENASHI SELECTION 焼き石目塗桐箱「ぱんどら」入選

平成 29 年 クラウドファンディングにて 「伝統工芸士が織りなす技。薄さ 1 mm・桐製のロックグラスで贅沢なひとときを。」を発表、伝統工芸品では異例の 7 時間で目標金額をクリア。最終 334% の達成率で終了。

平成 30 年 LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 2017 和歌山代表に選出。
プロジェクトでは桐のロックグラスを超える桐のピア杯を製作、小山薫堂氏選出の匠として選ばれました。

平成 31 年 高野山第 520 世事務検校法印御房の三宝院飛鷹全隆様の式典献上品 桐の抹茶椀（無量寿）製作

平成 30 年 LEXUS 高松店にてデザイナー村上モリロー氏、ガラス作家杉山利恵氏と桐のスピンドルクリスマスツリーをコラボ製作

平成 30 年 LEXUS 和歌山インター店にて桐の船形花台オブジェを製作展示

平成 31 年 パリ メゾン・エ・オブジェ、イタリア ミラノサローネで食品衛生法世界基準をクリアした桐のグラスを発表

平成 31 年 建築家 磯崎新プリツカー賞受賞記念品製作

令和元年 LEXUS 紀三井寺店リニューアルに伴い店舗内家具の製作、展示アートの製作

令和 2 年 世界遺産 熊野那智大社 1700 年祭記念品製作

令和 2 年 東寺真言宗総本山教王護国寺第 257 世長者、東寺真言宗第 3 世管長（東寺）に就任されました飛鷹全隆大僧正の就任記念品『桐の蓮皿』製作

令和 2 年 Philip Morris IQOS の世界初 Maker's Gallery Project 『Fukutaro Azuma For IQOS』にて
桐のオブジェ『HOU-OU 進化と再生』を展示

令和 5 年 新しい桐箆笥の形 SAMA をパリ・メゾン・エ・オブジェにて発表

令和 5 年 小山薫堂氏家元「湯道」の湯道具、潤し水椀を製作

桐の器への思い

古来より縁起の良い神聖な木とされていた桐が登場する世界最古の文献には、桐にまつわる伝説が残されています。秦の始皇帝は、秦平の世が訪れると姿を現すとされていた吉兆の霊鳥・鳳凰が舞い込んでくるように、鳳凰が寝床とする桐を宮中に植えたというのです。

だったら僕は桐を扱う職人として、何度でも蘇る不死鳥・鳳凰のごとく、低迷する桐箆笥業界を復活させよう、盛り上げよう。その先にはきっと伝統工芸、日本のものづくりの明るい未来が待っている。その思いが日本初の桐の器を完成させました。

「鳳凰伝説のように、何度転んでも起き上がる」この器には、そんな物語を託しています。

